

よまん

《第92号》
2025年3月発行

なかえとうじゅせんせい たんじょうび
中江藤樹先生の誕生日は3月7日です。
ふじ先生が「大学」という本を読んで志
を立てた年齢にちなんで、市内の小学校
では、3年生の児童が立志祭を行います。



藤樹先生は、学問で学んだことを生活の中でいつも実行しようしました。だから、ただ学者というだけでなく、「近江聖人」としてたたえられました。



第3回 『知行合一』

「車が田に落ちた」という、藤樹先生のお話があります。

荷車の輪が田んぼにおちて困っている馬子（当時における商人）を、そばで見ていた農民はだれひとりとして助けようとはしませんでした。その様子をみた藤樹先生は、裸足になって田んぼに入り、

荷車を押し上げようとされました。すると今までそばで見ていた農民は、おどろいてすぐさま手伝うのです。

この話には異なる3つの身分の人たちが描かれています。藤樹先生は、身分に関係なく、人としてあたりまえの行動をしようしました。



藤樹先生紙芝居（高島藤樹会）

人々は、学ぶことによって人として行わなければならない道を知ることができます。しかし、学んだだけで、それを行わなければ、ほんとうにわかったことにはなりません。物事をよく理解し、実行してこそはじめて知ったこととなります。このことを「知行合一」といいます。

藤樹先生の言葉

人のよきを
よくほめあげて
あやかることの
ありやせんもし

書
瀧田瑞穂さん

今回も、藤樹先生の和歌です。「人の良い行いをよくほめて、多くの人に伝えてみましょう。そうすれば、自分もそれにあやかって、良い行いをなすことがあるかもしれません。」という意味にです。

人の悪いところばかりを見るのではなく、良い面を見て、ほめることが大切なのではないでしょうか。

「人の振り見て我が振り直せ」という、ことわざもありましたね。人の良い面が見えることは素敵なこと。そのうえ、人の良い面をほめて広めることができるなんて、自分にも良い影響が表れるかもしれませんね。



リニューアル工事中の
中江藤樹・たかしまミュージアム



職員たより まれる施設となるよう、職員一同がんばります。

令和7年度に新しくオープンする新施設の名前が、『中江藤樹・たかしまミュージアム』に決まりました！当館は、今までの中江藤樹の資料に加え、高島市全体の歴史にふれていただける施設として、新たにスタートします。楽しく学べ、親しめる施設となるよう、職員一同がんばります。『中江藤樹・たかしまミュージアム』で、みなさんとお会いする日を楽しみにしています！